



第4回委員会が開催されました

■第4回高浜町マリンビジョン策定委員会が開催されました

第3回高浜町マリンビジョン策定委員会（10月21日開催）に引き続き、去る令和7(2025)年12月23日（火曜日）14時から、第4回目の委員会が、高浜町役場の第1・2会議室で開催されました。

今回は委員会の冒頭に、西嶋町長より、本ビジョンへの期待と終始熱心な議論に協力いただいている渡慶次委員長（福井県立大准教授）はじめ委員会のみなさんに対してお礼の言葉をいただきました。



高浜町としては、このビジョンを策定していく中で、一つずつ具現化し、さらには海岸沿いシーサイドラインの魅力づくりを実現化していきたいと考えております。委員の皆様には引き続き忌憚のない意見を出していただき、ビジョンを策定いただいて国内でも自慢のできるビジョンに上げていきたいと思っております。

(会議冒頭の西嶋町長からのあいさつ)

その後、渡慶次委員長の進行により、議事に入りました。

今回は、先ず、前回の振り返り※1とともに、去る令和7年11月12日～13日にかけて実施された水産庁主催の「第2回海業推進全国サミット in 高浜」※2の概要について、事務局から報告が説明ありました。

次に、現時点の「高浜町マリンビジョン」の構成・骨子案について、委員のみなさんに事務局よりご説明し、委員長意見を含めて、主な委員から大まかな感想をいただきました。

なお、構成・骨子案の委員各位の詳細な意見などについては、次回委員会（令和8年1月26日開催予定）までに、事務局宛てにお送りいただき、更に内容を磨き上げていくことで、委員会の了承を得ました。

※1. 第3回委員会の振り返りについては以下QRコードを参照ください

※2. 第2回海業推進全国サミット in 高浜の概要については、下記QRコードを参照ください



(第3回マリンビジョンニュース)



(海業サミット)



(委員会での意見交換の様子)

■第4回委員会の進め方

話題提供（事務局）

① 第3回委員会の振り返りと海業サミットの報告

- ・第3回委員会での話し合いの結果をまとめて、委員のみなさんに共有しました。
- ・高浜町で開催された水産庁主催の「第2回海業推進全国サミット in 高浜」の開催概要について、委員のみなさんに共有しました。

② 高浜町マリンビジョン構成・骨子案の説明（事務局）

- ・これまで3回の委員会での議論やアンケート結果などを踏まえて、第4回委員会時点で事務局が作成した「高浜町マリンビジョン」の構成・骨子案の概要を委員のみなさんにご説明しました。

③ 意見交換

- ・高浜町マリンビジョン構成・骨子案について、委員長、各所属業界や立場毎の代表者からご意見をいただきました。（※右記参照）

※ビジョン構成・骨子案の内容が多く、多岐にわたっていたことと年末の時間の制約もあったため、すべての委員に詳しくご意見をうかがえなかったため、次回委員会までに各委員の意見を事務局までお送りいただき、ビジョンの内容の充実反映することとしました。

「高浜町マリンビジョン」構成・骨子案イメージ

ビジョンの目次案

【現時点での目次案】

1. 高浜町マリンビジョン策定の前提
 2. 高浜水産振興ビジョン(H25策定)の評価と検証
 3. 高浜町の漁業・水産業・海業及び地域振興の現状と課題
 4. 高浜町マリンビジョンの基本理念と基本的方向
 5. 高浜町マリンビジョンの目標と10の重点プロジェクト
- 資料編：アンケートやワークショップの結果、委員会の概要など

【10の重点プロジェクト案】

- 1 里海資源の持続的活用重点P
- 2 漁業所得の向上重点P
- 3 流通構造改善重点P
- 4 加工業の再構築重点P
- 5 意欲ある担い手の確保重点P
- 6 流通構造改善重点P
- 7 内浦地区海業振興重点P
- 8 町内を結ぶ海業連携重点P
- 9 高浜漁港機能付加価値化重点P
- 10 内浦海業振興を牽引する海業拠点漁港活用重点P

※重点P=重点プロジェクトの意味です

ビジョン10の重点プロジェクト

※ビジョンの目次も10のプロジェクトも現時点では案であり、今後、第5回、第6回委員会の議論を経て、更に内容を充実していきます。

主な意見

漁業関係者の意見

マリンビジョンの全体を見ると、なるほどということもあります。海業といっても、どれから手をつけて良いかわからないのが正直なところですが、**ひとつずつ、実行していくしかない**と感じています。

観光関係者の意見

マリンビジョンの骨子案には、課題や今後取り組んでいくべきことまで、細かに記述があり、非常にわかりやすく、よかったです。問題点にもあるように、高浜町の観光来訪者数は、コロナ前の水準に戻っていないので、観光協会でも一緒になって考え、観光客の誘致であるとか、**PRなどに一緒に取り組んでいけたら**という風に思っております。

流通加工関係者の意見

流通加工振興のテーマのところで、**魚が多品種少量水揚げの特性の中、流通販路を広げていく**という部分は、大きな課題だと思います。また、加工にしても、近隣の加工場に広げていくというのは、当然の課題だという風に思います。そのあたりをビジョンとして設定して、課題解決に向かっていくのはすごく良いなと思いました。

若手代表の意見

ビジョンを立ち上げるだけでなく、10のプロジェクトに落とし込んでいただき、**これをやっていけば良いのだなというのが見える**ビジョンになったと思っています。推進体制のところも検討してもらっているのですが、この推進体制（誰が主体となって何をやっていくのか）の考え方を下地に、チームを組んだり、誰がリーダーで進めるのかなどを決めてくことで、より具体的に進んでいけそうな気がします。

委員長から一言

水産業と観光が重なる海業も積極的に取り組むという点で、素敵なビジョンだと思います。高浜はやはり魚があるとか、漁師さんがいるとかといったこと自体がすごく価値があると思います。水産業がない海業は全然魅力がないので、**“人”をしっかりと位置付ける**ことが重要です。例えば独立したいと考える若いIターン漁師が、定置で頑張り、先輩の話を聞いて受け入れてもらいながら、ベテランにいろんな知恵を教えてもらう仕組みの中でどんどん人を受け入れていけたら素晴らしいと思います。こういった仕組みが高浜では、すごくいい形で進んでいると思っております。そこをもっと伸ばしていけたら素敵だなということに加え、もうひとつは、**女性の方がもっと入ってもらえるような仕組み**です。加工もそうですが、それだけじゃなく、もう漁業本体の方にも女性が1人入るだけでも、就業環境がすごく良くなったという話をよく聞きます。ですので、加工はもちろんですが、漁業の操業現場に女性を「高浜モデル」として、思い切って受け入れていくというの、方向性としては活性化につながるのかなと思います。